



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 高田機工株式会社

コード番号 5923 URL <http://www.takadakiko.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 寶角正明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 西尾和彦

TEL 06-6649-5100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,947	5.8	△206	—	△99	—	△122	—
26年3月期第2四半期	4,678	△25.1	△1,397	—	△1,357	—	△1,375	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△5.55	—
26年3月期第2四半期	△62.38	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,565	—	15,706	—	—	72.8
26年3月期	23,605	—	15,550	—	—	65.9

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 15,706百万円 26年3月期 15,550百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	6.1	50	—	120	—	80	—	3.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	22,375,865 株	26年3月期	22,375,865 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	332,912 株	26年3月期	330,990 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	22,043,890 株	26年3月期2Q	22,047,755 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	6
売上及び受注の状況	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融緩和継続等を背景に緩やかな景気回復基調が続きました。

当業界におきましては、橋梁事業では当第2四半期累計期間の発注量は、前年同四半期比ではやや減少したものの、年度後半は東日本地区を中心に当第2四半期累計期間を上回ると予想され、今後の受注拡大に期待がもてる状況にあります。鉄構事業では、首都圏一極集中の傾向が継続しております。当第2四半期累計期間の鉄骨需要は前年同四半期をやや下回りましたが、年度後半は首都圏の大型再開発が需要を牽引し、新年度早々からは東京五輪関連の案件により需要の上乗せが期待できます。

このような状況のもとで当社は、早期の黒字転換実現には「安定的な受注の確保」が最重要課題と位置付け、会社の総力を挙げて営業活動に取り組みました。

受注状況につきましては、橋梁事業では従来よりも対象案件を絞った受注活動を展開したことで技術提案の評価や入札額の積算精度が高まり、目標値に近い受注高を達成することができました。鉄構事業では、需要増加の流れの中で採算重視を徹底しながらも売上高相当の受注を確保いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の受注高は前年同四半期比で114.3%増の7,238百万円となりました。

当第2四半期累計期間は、橋梁事業・鉄構事業ともに手持ち工事の生産が順調に進捗し、売上高が当初予想を上回ったことで粗利益も増加いたしました。販売費及び一般管理費を吸収するまでには至らず、営業利益の黒字転換は第3四半期以降へ持ち越しとなりました。経常損益・四半期純損益の赤字幅も有価証券売却益の増加により当初予想から半減しましたが黒字転換までは届きませんでした。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,947百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業損失206百万円(前年同四半期は営業損失1,397百万円)、経常損失99百万円(前年同四半期は経常損失1,357百万円)、四半期純損失122百万円(前年同四半期は四半期純損失1,375百万円)であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、21,565百万円で前事業年度末比2,039百万円の減少となりました。その主な要因は完成工事未収入金の減少によるものであります。負債は、前事業年度末比2,195百万円減少し、5,859百万円となりました。主な要因は支払手形・工事未払金と短期借入金の減少によるものであります。純資産は主にその他有価証券評価差額金の増加により、前事業年度末比156百万円増加し、15,706百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の前払年金費用(投資その他の資産「その他」)が68百万円増加、退職給付引当金が133百万円減少し、利益剰余金が178百万円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,668,520	2,854,848
受取手形・完成工事未収入金	7,181,231	5,279,797
有価証券	—	251,835
未成工事支出金	213,114	207,318
材料貯蔵品	11,674	13,657
その他	110,717	59,147
貸倒引当金	△22,690	△17,190
流動資産合計	10,162,569	8,649,415
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	4,333,271	4,336,646
減価償却累計額	△3,229,853	△3,258,082
建物・構築物(純額)	1,103,418	1,078,564
機械・運搬具	4,025,114	4,050,665
減価償却累計額	△3,396,233	△3,461,238
機械・運搬具(純額)	628,880	589,426
土地	5,515,583	5,515,583
その他	854,969	860,723
減価償却累計額	△793,823	△789,805
その他(純額)	61,145	70,917
有形固定資産合計	7,309,027	7,254,491
無形固定資産		
ソフトウェア	18,127	16,503
その他	8,966	8,945
無形固定資産合計	27,094	25,449
投資その他の資産		
投資有価証券	5,255,404	4,684,151
従業員に対する長期貸付金	62,301	54,696
その他	863,290	971,098
貸倒引当金	△74,595	△73,650
投資その他の資産合計	6,106,401	5,636,296
固定資産合計	13,442,523	12,916,236
資産合計	23,605,093	21,565,651

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	3,057,259	2,073,392
短期借入金	2,900,000	2,200,000
未払法人税等	22,873	23,416
未成工事受入金	901,833	592,178
賞与引当金	135,810	125,990
工事損失引当金	447,052	337,428
その他	129,202	88,760
流動負債合計	7,594,031	5,441,166
固定負債		
繰延税金負債	250,754	324,639
退職給付引当金	188,262	71,654
その他	21,723	21,723
固定負債合計	460,740	418,017
負債合計	8,054,771	5,859,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,178,712	5,178,712
資本剰余金	4,608,706	4,608,706
利益剰余金	5,250,985	5,262,653
自己株式	△140,393	△140,793
株主資本合計	14,898,010	14,909,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	652,311	797,190
評価・換算差額等合計	652,311	797,190
純資産合計	15,550,321	15,706,468
負債純資産合計	23,605,093	21,565,651

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
完成工事高	4,678,237	4,947,958
完成工事原価	5,490,555	4,616,414
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	△812,318	331,543
販売費及び一般管理費		
役員報酬	59,812	56,840
従業員給料手当	223,647	208,207
賞与引当金繰入額	41,765	38,095
退職給付引当金繰入額	20,082	16,420
通信交通費	42,003	38,344
雑費	198,090	180,046
販売費及び一般管理費合計	585,401	537,954
営業損失(△)	△1,397,720	△206,410
営業外収益		
受取利息	11,369	13,461
受取配当金	31,751	32,868
投資有価証券売却益	6,243	49,479
その他	18,065	24,077
営業外収益合計	67,429	119,886
営業外費用		
支払利息	5,316	9,725
投資有価証券償還損	18,270	—
その他	3,557	3,517
営業外費用合計	27,144	13,242
経常損失(△)	△1,357,435	△99,766
税引前四半期純損失(△)	△1,357,435	△99,766
法人税、住民税及び事業税	8,718	8,600
法人税等調整額	9,188	14,122
法人税等合計	17,906	22,722
四半期純損失(△)	△1,375,341	△122,488

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

売上及び受注の状況

## 売上状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (25.4.1~25.9.30)		当第2四半期累計期間 (26.4.1~26.9.30)		前事業年度 (25.4.1~26.3.31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	3,162	67.6	3,690	74.6	7,680	67.9
鉄構	1,515	32.4	1,257	25.4	3,628	32.1
計	4,678	100.0	4,947	100.0	11,308	100.0

## 受注状況

期別 セグメント別	前第2四半期累計期間 (25.4.1~25.9.30)		当第2四半期累計期間 (26.4.1~26.9.30)		前事業年度 (25.4.1~26.3.31)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	2,757	81.6	6,024	83.2	8,286	78.0
鉄構	620	18.4	1,213	16.8	2,332	22.0
計	3,377	100.0	7,238	100.0	10,619	100.0

## 受注残高

期別 セグメント別	前第2四半期会計期間末 (平成25年9月30日現在)		当第2四半期会計期間末 (平成26年9月30日現在)		前事業年度末 (平成26年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
橋梁	7,677	74.4	11,023	83.4	8,689	79.5
鉄構	2,638	25.6	2,194	16.6	2,238	20.5
計	10,315	100.0	13,218	100.0	10,927	100.0